

黒田庄まちづくり協議会より

第148号9月

第41回にしわき市・黒田庄夏まつり開催

去る8月16日(木)に黒田庄グラウンドに於いて、第41回にしわき市・黒田庄夏まつりを開催しました。

前日からの降雨により開催が危ぶまれましたが、当日は雨も上がり、朝からテント設営、やぐらの提灯付けなどの準備を行い、昼前に終了しました。午後に多少の降雨はありましたが、午後4時頃には雨も上がり、予定どおり開催することができました。

午後7時から地元特産品などが当たる福引用抽選券を先着1,600名様に配布しました。午後7時30分からやぐらの上で西澤・石原子ども会を皮切りに1+1の音頭で盆踊りが始まりしました。午後8時20分頃には皆さんお待ち兼ねの福引当選番号を発表し、景品交換で賑わいました。盆踊りが終わると実行委員長・西脇市長のあいさつがあり、その後、福引特賞の発表をしました。午後9時に夏まつりの夜空を飾る花火を打ち上げ、今年は兵庫県政150周年記念花火で150の花火を打ち上げましたが、皆さんご覧頂けたでしょうか。

福引や花火、夜店も数多くあり、老若男女約2,400人の来場者で賑わい、暑い真夏のひとときを楽しく過ごしながらかお互いに心の和を育てることができたのではないのでしょうか。



盆踊り



福引景品交換



花火



県政150周年記念花火

(にしわき市・黒田庄夏まつり実行委員会)

編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
平成30年9月15日発行



黒田庄地区の人口

(H30.9.1現在)

男 3,305

女 3,513

計 6,818

世帯数 2,625

人口前月比 (-8)

あつまっ亭感謝祭開催 ★予告★

来る10月21日(日)に黒田庄駅舎あつまっ亭に於いて、「あつまっ亭感謝祭」を開催します。

餅つき、朝市、ぜんざい・豚汁・ポップコーンなどのふるまい、G・G(ゴールデン・ギャップス)演奏などがありますので、友人・ご家族・ご近所お誘いのうえ、多数ご来場ください。詳しくは各戸配布のチラシをご覧ください。

(あつまっ亭活性化実行委員会)

(2)

リンクスマイル ☆「いもほり」を親子で体験しませんか？☆

日 時 : 平成30年10月20日(土) 10時集合 ※雨天の場合は27日(土)

場 所 : 西脇市黒田庄町福地(下に地図記載)

持ちもの : スコップ・軍手・いもを持ち帰る袋・タオル・お茶

服 装 : 長袖・長ズボン(できれば)・帽子・長靴(ある人)

対 象 : 0歳から12歳までの親子

参加費 : 1家族200円(当日集めます)

申 込 : 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館

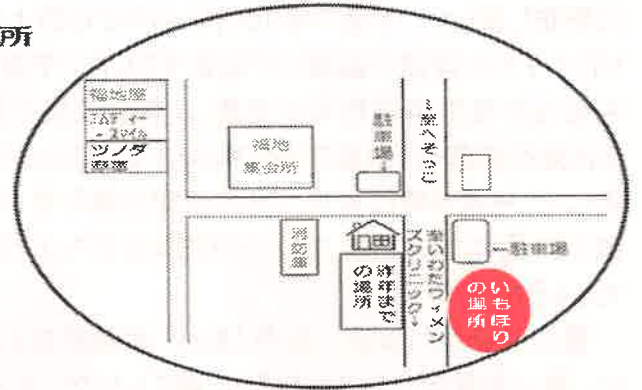
(黒っこプラザ) Tel 0795-28-2121

※先着30組で切りめます。

企 画 : リンクスマイル いもほりの場所



拡大



黒田庄地区人権のまちづくり協議会

☆「人権文化を進める市民運動」強調月間 黒田庄地区講演会を開催！☆

8月28日(火)19時30分より、黒っこプラザに於いて、人権講演会を開催しました。各集落、学校園、PTA、各種団体より多くの参加をいただきました。また黒田庄地区以外からもお越しいたごき、総勢200名の方々に会場の2階大ホールは満席となりました。

○前半には、楠丘小、桜丘小、黒田庄中の児童生徒のみなさんに人権作文の朗読をいただきました。

- ・楽しく生きられる西脇市へ 楠丘小 5年 渡部香里菜さん
- ・ええねん ええねん 桜丘小 5年 石井 光さん
- ・性別のイメージ 黒田庄中 3年 日高愛香さん

○後半は、講演をいただきました。

- ・演 題 バリアバリューから未来を創る！
～みんなが求めるユニバーサルマナー～
- ・講 師 (株)ミライロ 岸田ひろ実さん



人権作文朗読



講演会の様子



※バリアバリューとは「バリア」(障害)を「バリュー」(価値)に変えるという意味。(株)ミライロの理念でもある。

講演の内容

知的障害のあるお子さんの出産や夫の突然死を経験した岸田さんは、患った病気の後遺症で下半身が麻痺し、車いす生活を送ることに。自身のさまざまな経験を基に、岸田さんが提案する高齢者や障害者への向き合い方「ユニバーサルマナー」について紹介されました。ユニバーサルマナーとは他人のことを思いやり正しく理解して行動することであり、岸田さんは、「ユニバーサルマナーには特別な知識も高度な技術も必要ない。誰もが身に付けていて当然のこと」と話され、「困った人を見かけたときは『私にお手伝いすることはありますか』と声をかけてほしい」と締めくくられました。



虹の会工房 就労継続支援B型事業所&生活介護事業所

この夏は記録的な猛暑が続き、熱中症で病院に搬送された方も多数ありました。また、西日本は豪雨に見舞われ、台風は9回も上陸するなど各地に甚大な被害が生まれました。

そして、8月には国民、とりわけ障がい者にとって許し難い事実が判明しました。それは民間企業の範たるべき国の各機関が、障がい者の法定雇用率を水増ししていたことです。このことは、障がい者の働く機会を保障するために、国や企業に雇うよう求められている従業員数に占める障がい者の割合を定めた法令を無視していたこととなります。心身に障がいのある人たちが地域でふつうに暮らして行ける社会を目指し、障がい者の法定雇用率を定めた国自体が雇用努力を怠ってきたことは許されません。国の各機関には障がい者に開拓できる仕事も多くあると思います。障がい者に特に関わりのある厚生労働省の機関をはじめ今後の国の動向を注視したいと思います。

今の科学をもってしても自然災害を事前に防ぐことはなかなか困難ですが、国が障がい者の法定雇用率を達成することは難しいことではないと思います。

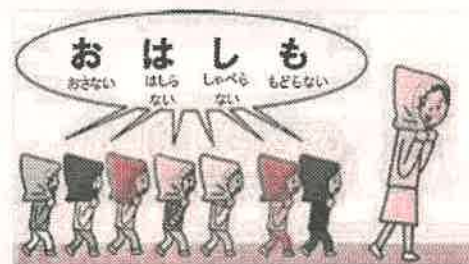
喫茶レインボー 閉店のお知らせ



黒田庄福祉センター1階エントランスで毎週木曜日に営業していました「喫茶レインボー」は、諸般の都合により閉店することになりました。これまでご来店いただきました皆様ありがとうございました。

<黒田庄こども園ニュース>

安心・安全な心を育てる!



黒田庄こども園では、毎月交通安全指導と避難訓練を行っています。

命を守ることの大切さや、子どもたちが安全に暮らせるように、最低限、身につけなければならないことを、実技を伴いながら、保育者と共に学んでいます。

幼い子どもたちにとって、自ら避難すること等は難しいことです。その時どう指示し、どう導くかは保育者の指導力・心構えが大切になってきます。しかし、子どもたちにもできる事があるはずです。

普段からの指導で、「保育者や大人の話をしっかり聞く(放送やベル等も!)」「頭を守る」「口をふさぐ」「静かに行動する」「お・は・し・も」など、ルールをしっかり守る!」など、身につけさせたいものです。

12月には、不審者対応として、西脇警察署の協力を得ながらの避難訓練も予定しております。「いかのおすし」を大切にしたいですね! 《避難訓練の様子》

子どもたちの大切な命です。保護者や地域の皆様からも、ご指導・見守りをお願いします!!

《ご案内》

恒例の黒田庄こども園運動会を、9月29日(土)9:00から、黒田庄グラウンドにて開催いたします。園児たちの元気で可愛い姿を是非ご覧ください!



(4)

黒田庄の巨木シリーズ(12) 田高 加古川右岸の桜並木

田高の防災ステーションから新中橋までの加古川右岸堤防に、延長約400m、48本の桜並木があります。これらの桜は、昭和32年に国道175号線の開通を祝って植樹された60本の一部で、樹齢は60年を超えています。新中橋が架設されたのもこの年です。

堤防裏の、のり肩とのり尻に二段構成で植えられ、隣り合う枝が重ならないように手入れされています。てんぐ巣病にかかった枝がありますが、生育状況は良好です。

堤防の補強工事の影響か、根元が埋まって分枝までの高さが短い桜が多くありますが、現地盤を基準として巨木調査をし、2本の巨木を確認しました。1本のソメイヨシノは胸高幹周3.03m、もう1本のソメイヨシノは株立ちで、胸高幹周 $2.60 + 1.38 = 3.98\text{m}$ です。

※堤防：堤防から見て河川側を堤外(ていがい)、その反対側を堤内(ていない)と言います。これは人家のある土地を堤防で囲って護るという考え方から生まれた呼称だそうです。

流水は堤内側を内水、堤外側を外水、また、堤防の斜面は法面(のりめん)、堤内側の法面は裏法(うらのり)と言います。



ソメイヨシノ



ソメイヨシノ 株立ち



桜並木



気ままな仲間たちの写真展のお知らせ！

私たち7名がこの度、2回目の写真展を開催する運びとなりました。

四季折々の風景、お祭りに東奔西走一喜一憂を繰り返しながら、個性豊かに切り取った作品となっております。万障お繰り合わせの上、ご高覧賜りますようご案内いたします。



場 所 : フォルクスガーデン内 喫茶フォルクス
期 間 : 平成30年10月19日(金)~21日(日)
午前9時~午後5時 (最終日は午後4時まで)



出展者 : 大城戸正憲・岡井孝司・宇仁菅節子・芝本 満・西山恒夫・藤本文孝・村上康人(世話人)

編集後記

9月の声を聞くと、朝晩は過ごしやすくなりました。私の平成最後の8月とかけて、秋田県と解きます。その心は、一つには、8月19日に岡あいあいセンターで、S氏の講演会が開催され、S氏が秋田県出身であったことです。入場者が多く、息苦しさを覚えるほどであったことと、靴ベラが準備できなかったことが心残りです。もう一つは、夏の全国高校野球大会の金足農高ナイン、とりわけ吉田投手の活躍に魅了されたことです。吉田投手の体調が心配です。

T. F